

目 次

1	システム機能概要	57頁
2	システム運用での前提条件	58頁
3	入力支援ソフト処理機能記述	59頁
4	入力支援ソフト画面一覧	87頁
5	入力支援ソフト画面レイアウト	88頁
6	集計解析ソフト画面遷移図	110頁
7	集計解析ソフト画面操作手順	111頁
8	集計解析ソフト帳票一覧	121頁
9	集計解析ソフト帳票レイアウト	123頁
10	データファイル一覧	158頁
11	データファイル定義書	159頁

1 システム機能概要

院内感染対策サーベイランスシステム（N I C U部門）で提供するシステム機能の概要を示す。

①入力支援ソフト

ア)従前版（中村班データベースソフト）の入力済みデータ取り込み

- ・各施設における入力済みデータを反映するための機能を持つ。ただし、従前版以外からの反映機能は持たない。

イ)患児基本情報の入力

- ・発症した感染症情報以外の患児に係る情報の入力を行う。
- ・各項目の入力に際しては妥当性チェックや関連項目との相関関係保持などの機能を持つ。
- ・疾病名は ICD-10 コード表から、各ディバイス装着期間ではカレンダー画面からの選択入力を実現する。

ウ)感染症情報の入力

- ・発症した日付ごとに当該感染症情報、原因菌情報、感受性試験情報などの入力を行う。
- ・各感染症の入力では感染症ごとにその診断基準を表示する。
- ・感受性試験結果の入力では、別途定めた多剤耐性菌の耐性判断基準を表示しその入力の支援を行う。

エ)施設情報の入力

- ・施設の形態と規模および感染対策内容の入力を行う。
- ・入力する各項目は変更履歴として各々 3 世代保持する。

オ)項目別充足度表示

- ・別に定める項目について充足度を表示する。
- ・これにより報告データ作成前の入力漏れの確認を容易にする。

カ)報告データ出力機能

- ・事業および研究班用としての各種解析のために、本入力支援ソフトで入力したデータ（施設情報、基本情報、感染症個人情報）を外部ファイルに出力する。

②集計・解析ソフト

ア)各施設からの報告データ取り込み

- ・厚生労働省において各施設からの報告データをサーバーシステムに取り込む。
- ・このとき、施設情報は施設コード、報告年月ごとに、基本情報は施設コード、患児 I D、出生年月日ごとに、感染症個人情報は施設コード、患児 I D、発症日ごとに保持するものとし、これらのキー項目で重複したものは上書きとする。

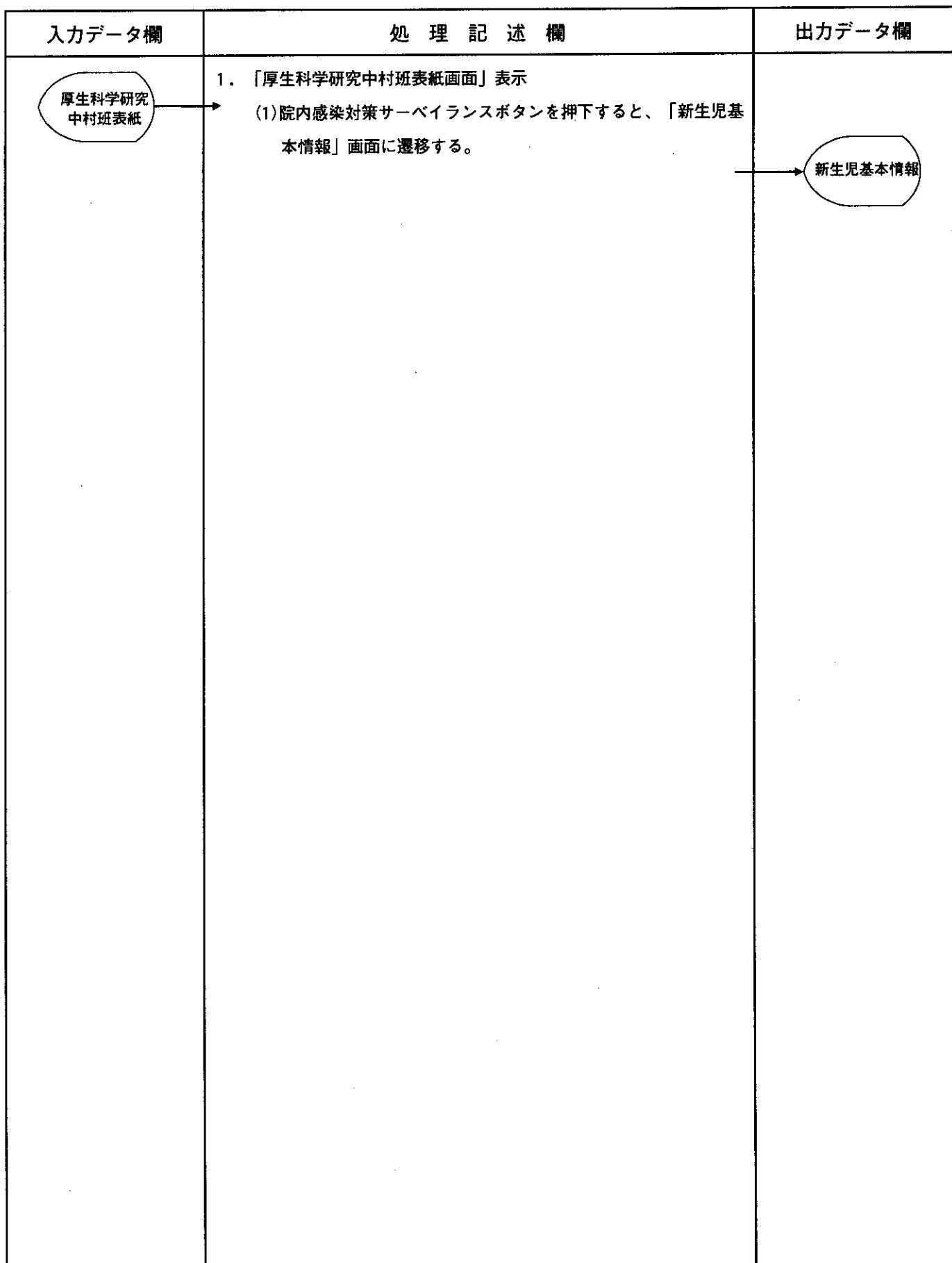
イ)報告データ取り込み状況表示

- ・感染症個人情報の発症日を基準として各施設別に取り込み状況を表示する。
 - ・これにより報告データ取り込みの完了確認を容易にし、未提出施設への通知も促すことができる。
- ウ)事業用、研究班用解析表出力
- ・別に定める解析表を事業用、研究班用に出力する。

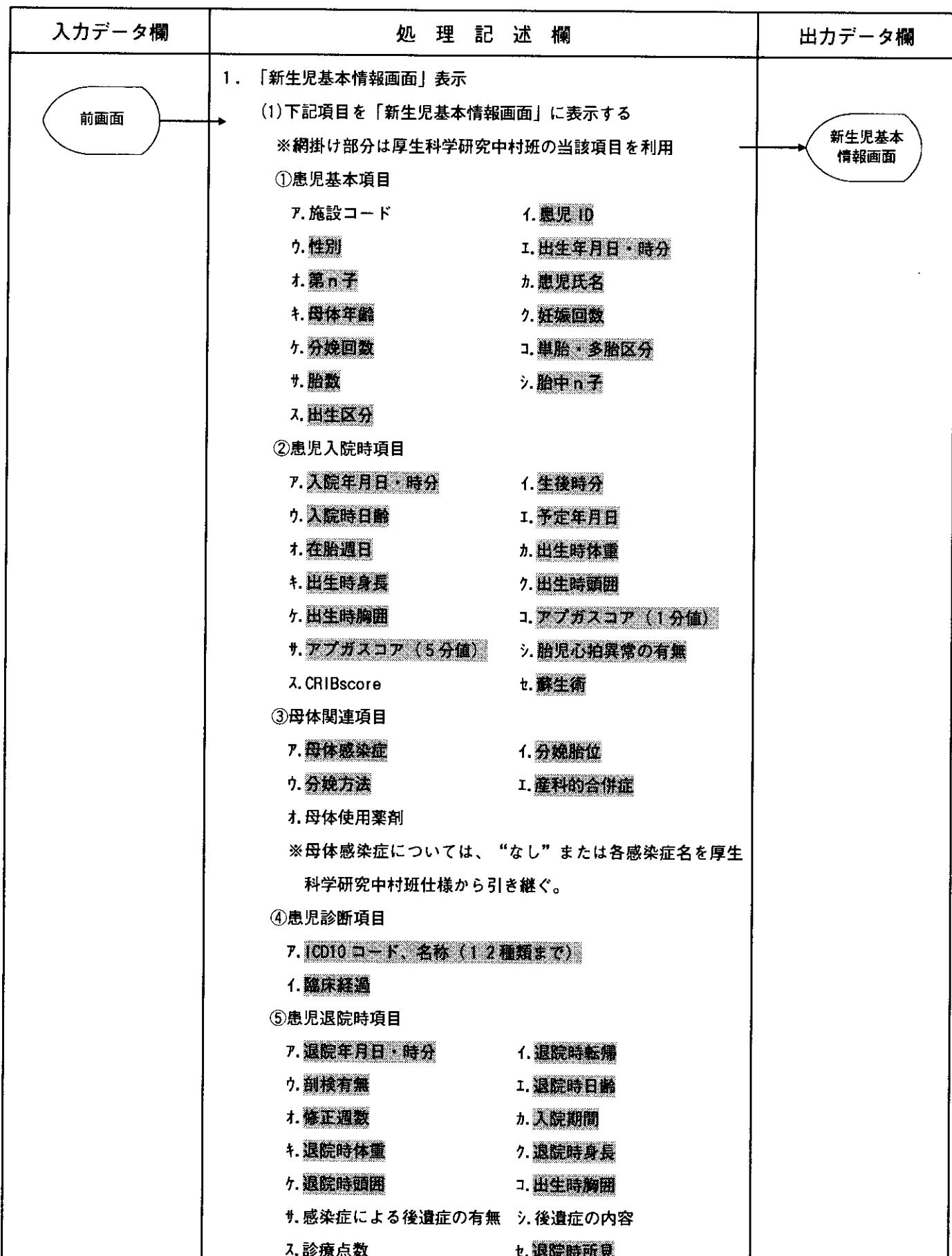
2 システム運用での前提条件

- ① システム運用に際しては、各施設ともに運用上使用するマシン上に Windows 版、Macintosh 版それぞれの FileMakerPro5 を必要とする。
- ② 各施設とも外部メディアでのデータ出力が可能である事を必要とする。
- ③ 各施設内において複数のコンピュータから入力する場合、TCP/IP ネットワークにより接続されている事を必要とする。

処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成 14 年 3 月 15 日
	厚生科学研究所中村班表紙画面		作成者 株式会社 十印



処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児基本情報入力画面		作成者 株式会社 十印



処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児基本情報入力画面		作成者 株式会社 十印

入力データ欄	処理記述欄	出力データ欄
	<p>⑥患児予後項目</p> <p>ア. 3歳時における発達予後　イ. 3歳時における神経学的予後</p> <p>⑦患児入院中処置等</p> <p>ア. 経腸栄養開始時のミルク　イ. 出生体重へ復帰した日齢</p> <p>ウ. 経腸栄養で 100ml/kg/日に達した日齢</p> <p>エ. 経腸栄養が最大一定となるまでのミルク内容の比率</p> <p>オ. 慢性肺疾患　カ. 頭蓋内出血</p> <p>キ. けいれんの有無と期間（日齢）　ク. CysticPVL 有無</p> <p>ケ. 網膜症の有無　コ. その他の合併症の有無</p> <p>サ. S-TA 使用有無　シ. HFO 有無</p> <p>ス. NCPAP 有無　ト. NO 使用有無</p> <p>ソ. 光線療法の有無と期間　タ. 交換輸血の有無と回数</p> <p>チ. ECMO 有無　ツ. インドメタシン有無</p> <p>テ. 吸入ステロイド療法有無　ト. 全身ステロイド使用有無</p> <p>ナ. 酸素投与の有無、期間、延べ日数</p> <p>ニ. 人工換気の有無、期間、延べ日数</p> <p>ヌ. 中心静脈カテーテル使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>ネ. 高カロリー輸液使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>ノ. 臍帶動脈カテーテル使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>ハ. 臍帯静脈カテーテル使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>ヒ. 末梢動脈カテーテル使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>フ. 膀胱留置カテーテル使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>ヘ. 経鼻栄養チューブ使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>ホ. 十二指腸栄養チューブ使用の有無、期間、延べ日数</p> <p>マ. 動脈管結紮術の有無、手術日齢</p> <p>ミ. 壞死性腸炎手術の有無、手術日齢</p> <p>ム. 網膜症剥離術の有無、手術日齢</p> <p>メ. 気管切開術の有無、手術日齢</p> <p>モ. その他の手術の有無、手術日齢</p> <p>ヤ. 胸腔ドレナージの有無、手術日齢</p> <p>リ. 腹腔ドレナージの有無、手術日齢</p> <p>ヨ. 脳室ドレナージの有無、手術日齢</p> <p>ラ. VP シャントの有無、手術日齢</p> <p>リ. オンマヤリザバーの有無、手術日齢</p> <p>ル. NICU 入院中一時転棟の有無、転棟先</p> <p>レ. 転棟期間（日齢）、延べ日数</p>	

処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児基本情報入力画面		作成者 株式会社 十印

入力データ欄	処理記述欄	出力データ欄
	<p>(2) 入力項目の詳細</p> <p>ア. 前項の網掛け部分は従前仕様（厚生科学研究所中村班版）での入力内容がそのまま表示され、それぞれでの入力、変更が相互に反映される。</p> <p>イ. 施設コード</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設情報入力画面で入力されたものを表示する。 <p>ウ. CRIBscore</p> <ul style="list-style-type: none"> 0～23の範囲内での既値、または“CRIBscore”ボタン押下により遷移する画面からの選択により入力する <p>エ. 母体使用抗生物質</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用薬剤が“その他”的ときに薬剤コード表からの選択を実現する。 <p>オ. 感染症による後遺症の有無およびその内容</p> <ul style="list-style-type: none"> “後遺症の有無”が“あり”的きその内容を入力。 <p>カ. 診療点数</p> <ul style="list-style-type: none"> 数値8桁以内での入力。 <p>キ. 3歳時における発達予後</p> <ul style="list-style-type: none"> 正常、境界、MRからの選択 <p>ク. 3歳時における神経学的予後</p> <ul style="list-style-type: none"> C P、テンカン、重傷心身障害からの選択 <p>ケ. 経腸栄養開始時のミルク</p> <ul style="list-style-type: none"> 母乳、一般人工ミルク、アミノ酸ミルク、その他特殊ミルクからの選択。 <p>コ. 経腸栄養が最大一定となるまでのミルク内容の比率</p> <ul style="list-style-type: none"> 母乳のみ（ほとんど）、母乳が多い、母乳とミルクが同じくらい、人工ミルクが多い、人工ミルクのみ（ほとんど）からの選択。 <p>サ. NO 使用有無</p> <p>シ. ECMO 有無</p> <p>ス. 吸入ステロイド療法有無</p> <p>セ. 中心静脈カテーテル、高カロリー輸液、臍帶動脈カテーテル、臍帯静脈カテーテル、末梢動脈カテーテル、膀胱留置カテーテル、経鼻栄養チューブ、十二指腸栄養チューブなどの使用有無およびその使用期間をカレンダー画面を使用して入力。</p>	

処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児基本情報入力画面		作成者 株式会社 十印

入力データ欄	処理記述欄	出力データ欄
	<p>※使用期間は最大10組登録でき、延べ日数欄にはそれらの合計日数を表示する。</p> <p>ソ. 気管切開術、胸腔ドレナージ、腹腔ドレナージ、脳室ドレナージ、VPシャント、オンマヤリザバーなどの有無およびその手術日齢を入力。</p> <p>タ. NICU入院中の一時転棟がある場合の転棟先を入力。</p> <p>チ. 転棟期間をカレンダー画面を使用して入力。 ・延べ日数欄にはその日数を表示する。</p> <p>2. 各ボタンの処理および画面遷移</p> <p>(1) 各ボタン押下時、以下の各画面に遷移する</p> <p>ア. 感染症入力 …… 「新生児感染情報入力画面（敗血症）」</p> <p>イ. 施設情報入力 …… 「施設情報入力画面」</p> <p>ウ. 報告データ出力 …… 「サーベイランス提出用データ出力画面」</p> <p>エ. 中村班表紙 …… 「厚生科学研究中心中村班表紙画面」</p> <p>※FileMaker レイアウトトップアップメニュー選択による遷移も可能</p>	

処理機能記述	院内感染対策サーバランスシステム/NICU 部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児感染情報入力画面（敗血症）		作成者 株式会社 十印

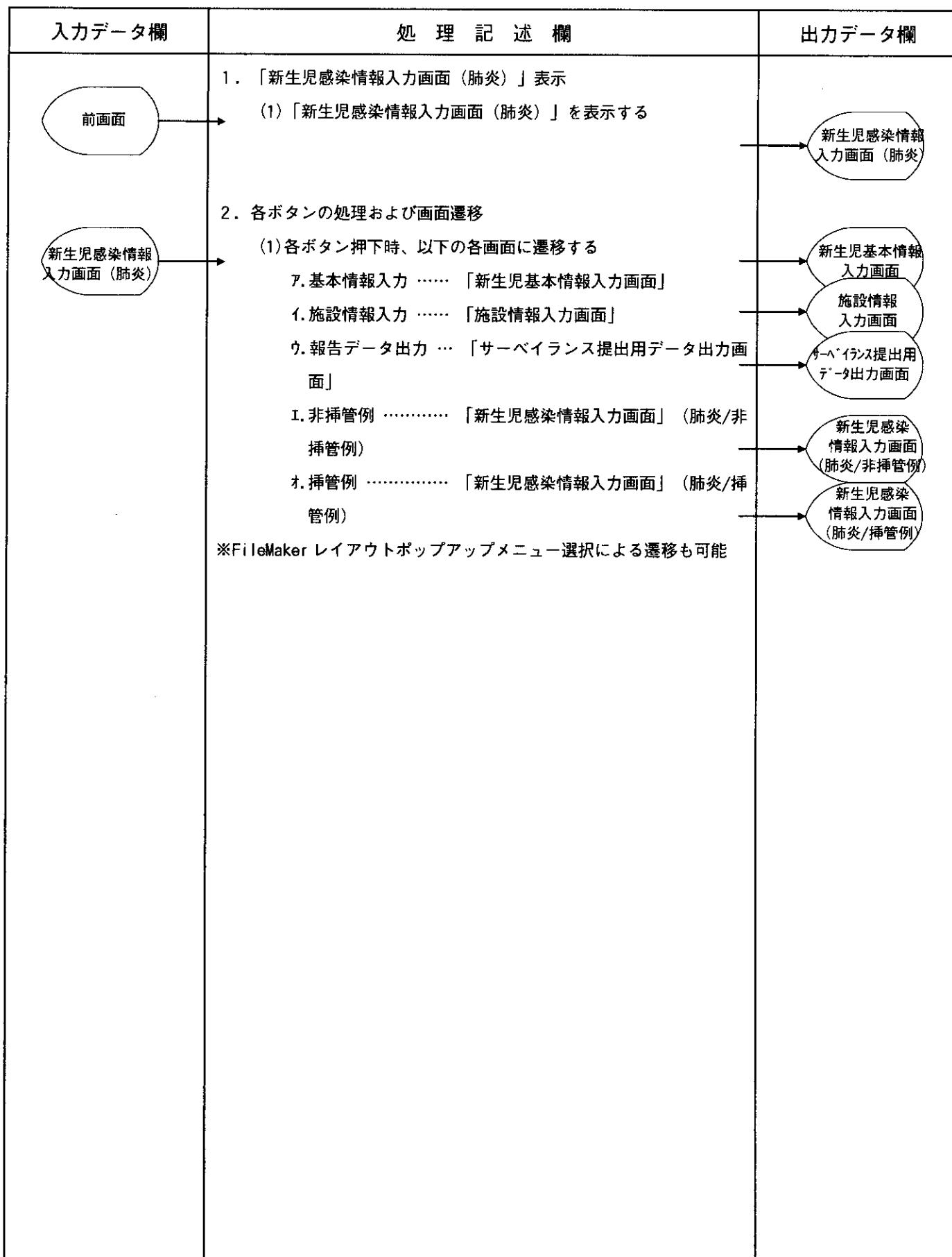
入力データ欄	処理記述欄	出力データ欄								
前画面	<p>1. 「新生児感染情報入力画面（敗血症）」表示</p> <p>(1) 下記項目を「新生児感染情報入力画面（敗血症）」に表示する</p> <p>①患児基本項目</p> <table> <tr><td>ア.施設コード</td><td>イ.健児ID</td></tr> <tr><td>ウ.患児氏名</td><td>エ.発症日</td></tr> <tr><td>オ.発症日齢</td><td>カ.治療開始日齢</td></tr> <tr><td>キ.治療終了日齢</td><td></td></tr> </table> <p>②感染症診断項目</p> <p>ア)確定診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 1 <ul style="list-style-type: none"> ア.発熱（38℃を超す）または低体温（36.5℃未満） イ.無呼吸（20秒続く）または徐脈（80/分未満） ウ.コントロールされていた無呼吸の再発 エ.安静時頻脈（150/分を超す） オ.末梢循環不全（四肢冷感・さえない皮膚色） カ.腹部膨満 キ.他では説明できない代謝性アシドーシス（BE<-10） ク.血糖上昇 ・条件 2 <ul style="list-style-type: none"> ア.血液培養もしくは髄液培養において病原体を検出する イ.体液や尿で血液抗原テスト陽性（GBS・インフルエンザ菌・肺炎球菌・髄膜炎菌）である <p>イ)臨床診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 1 <ul style="list-style-type: none"> ア.発熱（38℃を超す）または低体温（36.5℃未満） イ.無呼吸（20秒続く）または徐脈（80/分未満） ウ.コントロールされていた無呼吸の再発 エ.安静時頻脈（150/分を超す） オ.末梢循環不全（四肢冷感・さえない皮膚色） カ.腹部膨満 キ.他では説明できない代謝性アシドーシス（BE<-10） ク.血糖上昇 ・条件 2 <ul style="list-style-type: none"> ア.医師により敗血症が疑われ、抗生素の投与が適切と判断される イ.血液培養で病原体を検出できない 	ア.施設コード	イ.健児ID	ウ.患児氏名	エ.発症日	オ.発症日齢	カ.治療開始日齢	キ.治療終了日齢		新生児感染情報入力画面（敗血症）
ア.施設コード	イ.健児ID									
ウ.患児氏名	エ.発症日									
オ.発症日齢	カ.治療開始日齢									
キ.治療終了日齢										

処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児感染情報入力画面（敗血症）		作成者 株式会社 十印

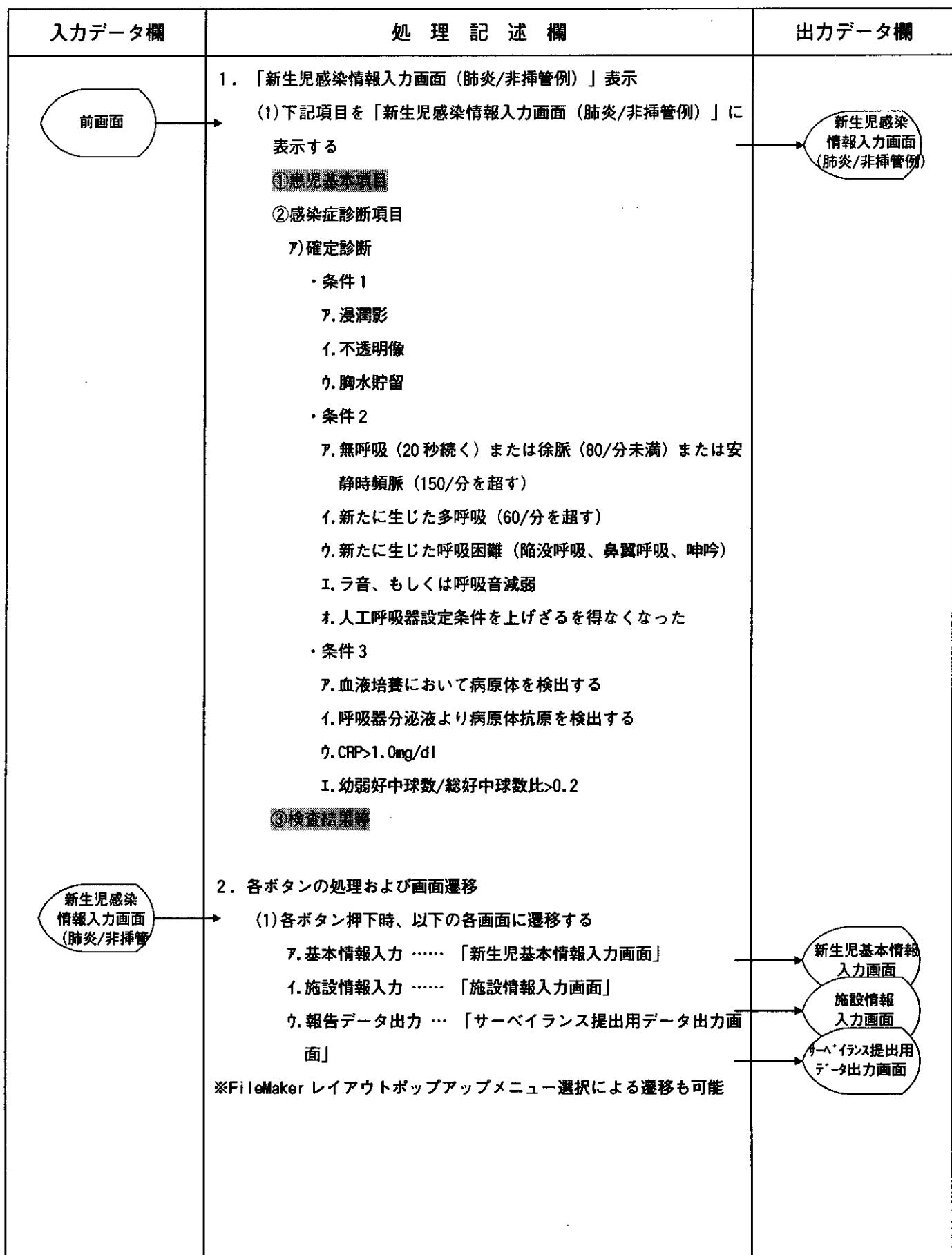
入力データ欄	処理記述欄	出力データ欄
	<p>・条件3</p> <p>7. CRP>2.0mg/dl 1. WBC<5000/mm³ ウ. 血小板数<100,000/mm³</p> <p>③検査結果等</p> <p>7. CRP(最高値) 1. 白血球(最高値) 9. 血小板(最低値) 1. 血液ガス BE(最低値) ル. 原因菌種名(コード、名称) ル. 原因菌の性質 4. 隅性検体材料 ク. 検体番号 ケ. 検体保存 ヲ. 使用抗菌剤1~4 セ. 抗生物質感受性リスト(SIR) シ. 併用治療</p> <p>(2) 入力項目の詳細</p> <p>※網掛け部分は新生児感染情報入力画面で共通のため、他の症例画面での記載は省略する。</p> <p>※②感染症診断項目では各“条件n”ごとの診断基準（複数選択が可能なチェックボックス）から選択する。</p> <p>※③検査結果等の「セ. 抗生物質感受性リスト(SIR)」は、「ル. 原因菌種名(コード、名称)」で選択した菌により標準検査葉セットが表示され、それぞれに検査結果をS, I, Rにより入力する。</p> <p>※③検査結果等の「シ. 併用治療」は以下から選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア. グログリン投与 ・ブ. 血液製剤投与 ・シ. G-CSF 投与 ・ソ. 交換輸血 ・ハ. 外科的処置（穿刺・排膿） ・ダ. 顆粒球輸注 ・オ. その他 <p>2. 各ボタンの処理および画面遷移</p> <p>(1) 各ボタン押下時、以下の各画面に遷移する</p> <p>7. 基本情報入力 …… 「新生児基本情報入力画面」 1. 施設情報入力 …… 「施設情報入力画面」 ウ. 報告データ出力 …… 「サーベイランス提出用データ出力画面」</p>	

*FileMaker レイアウトポップアップメニュー選択による遷移も可能

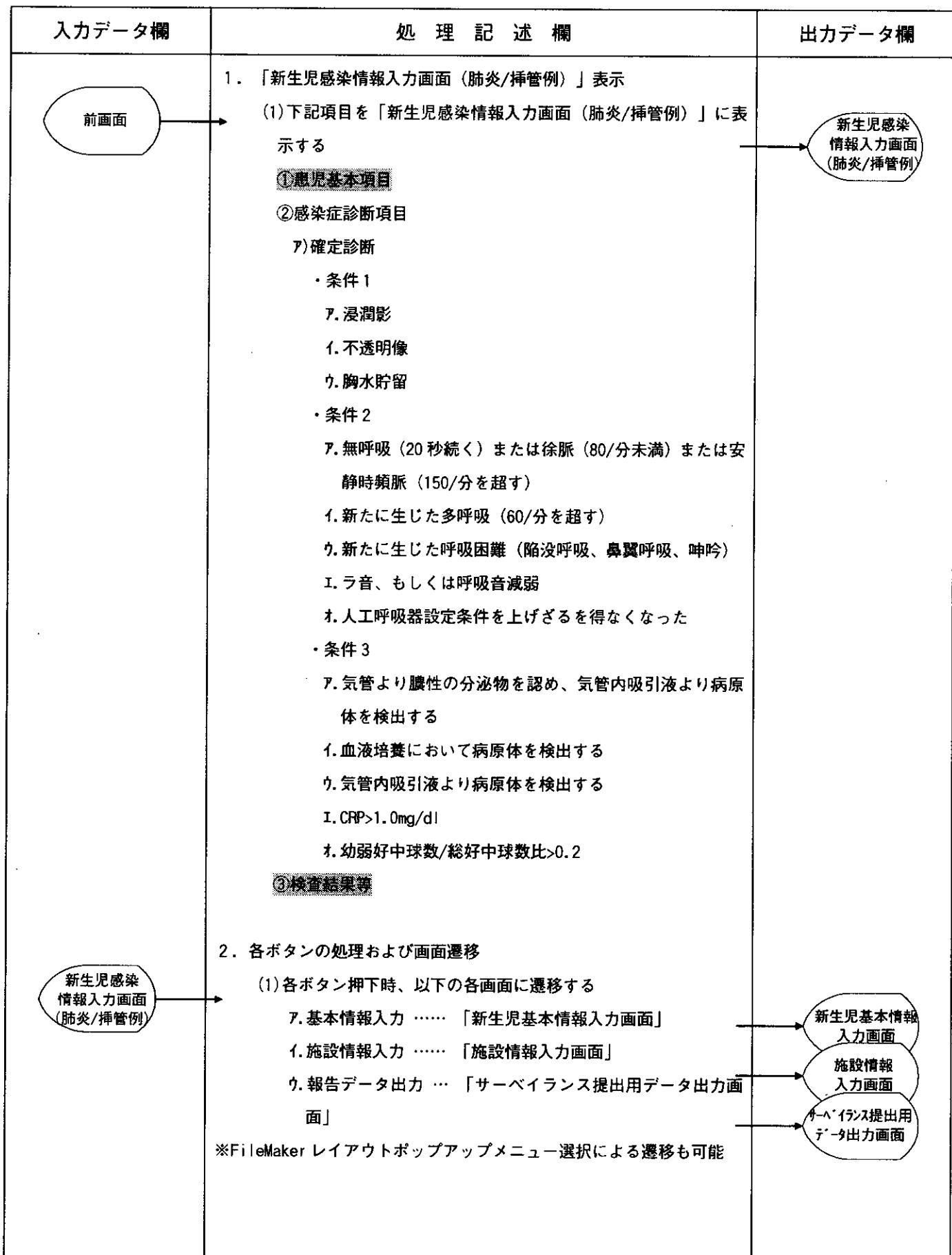
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成 14 年 3 月 15 日
	新生児感染情報入力画面（肺炎）		作成者 株式会社 十印



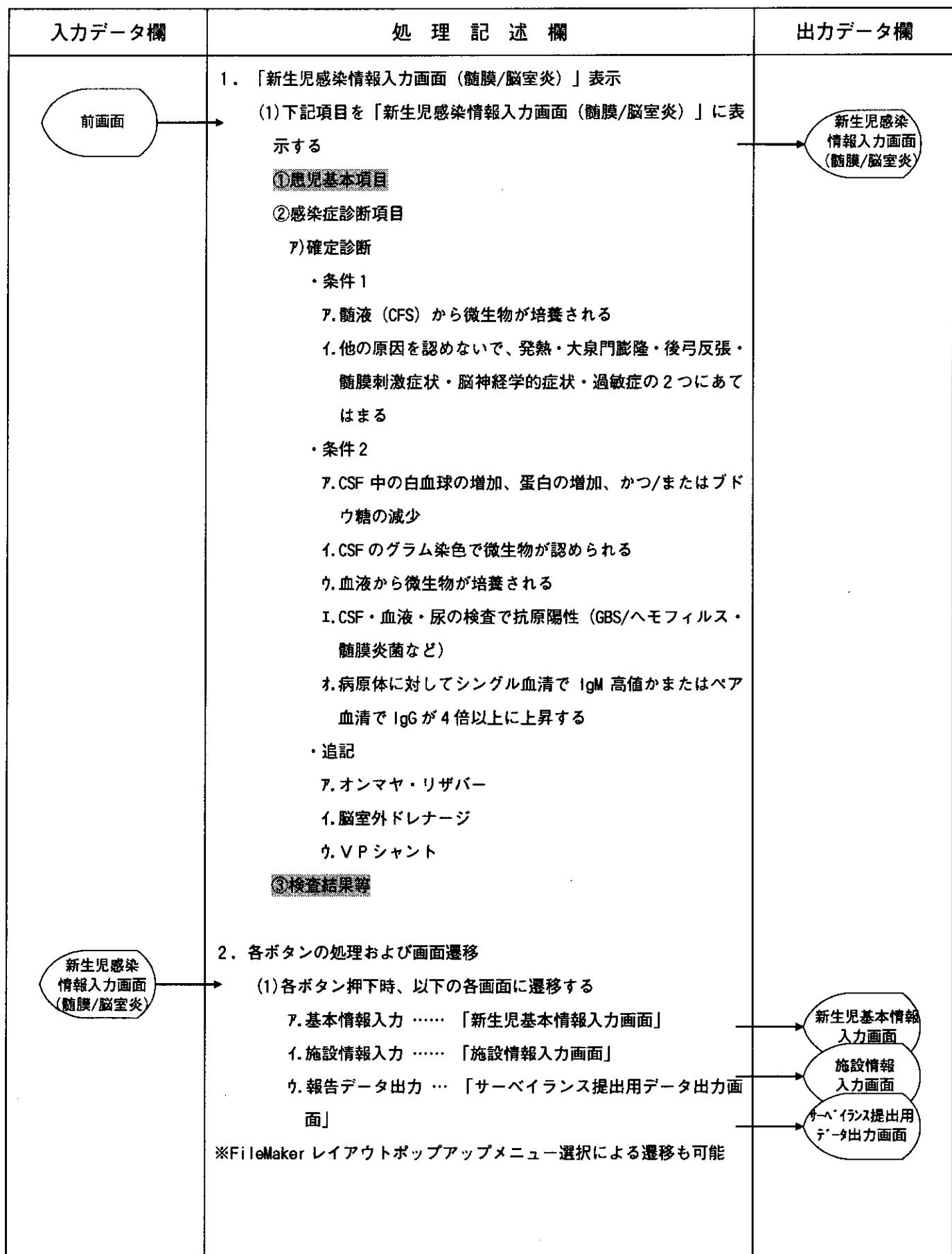
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年3月15日 作成者 株式会社 十印
	新生児感染情報入力画面（肺炎/非挿管例）	



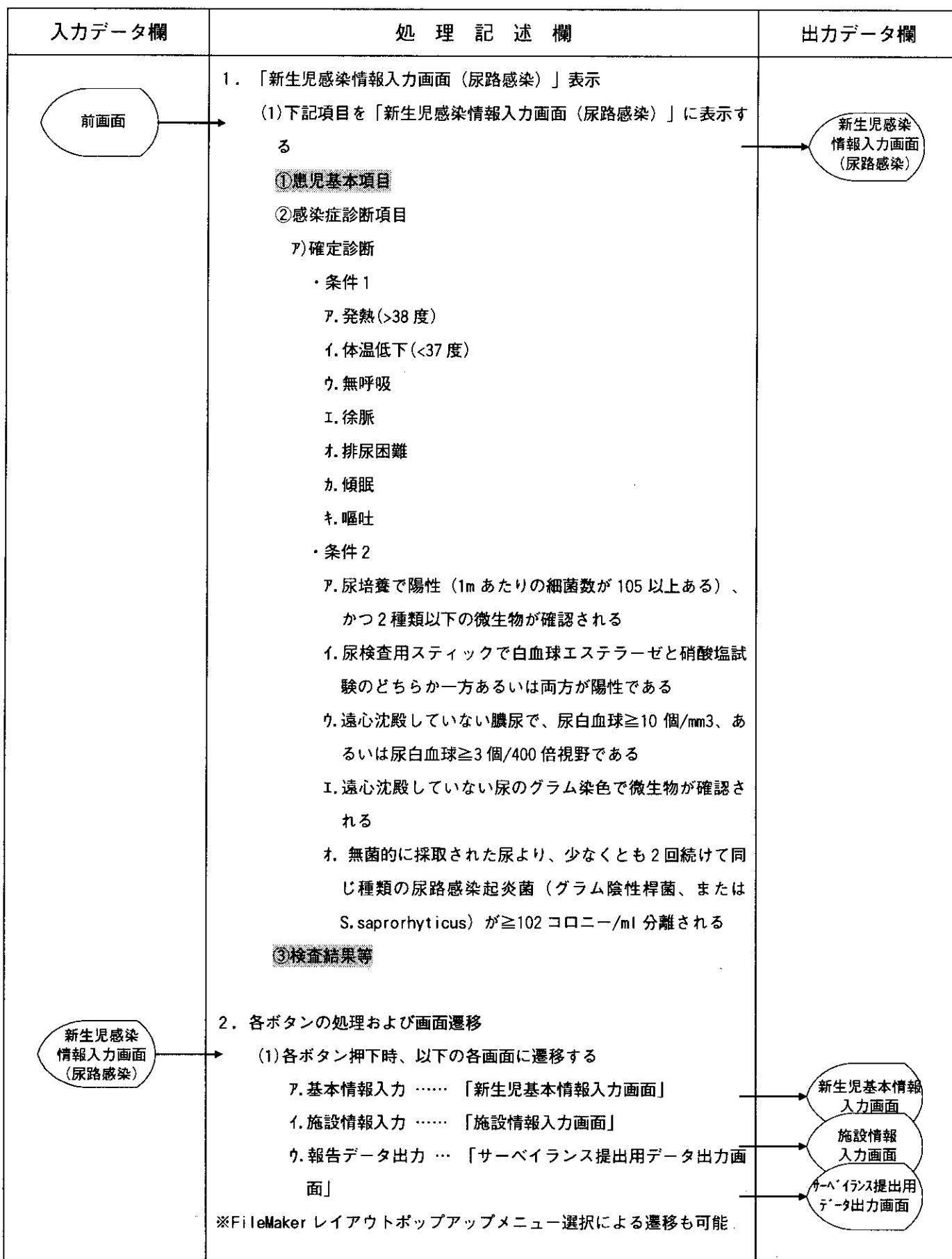
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年3月15日 作成者 株式会社 十印
	新生児感染情報入力画面（肺炎/挿管例）	



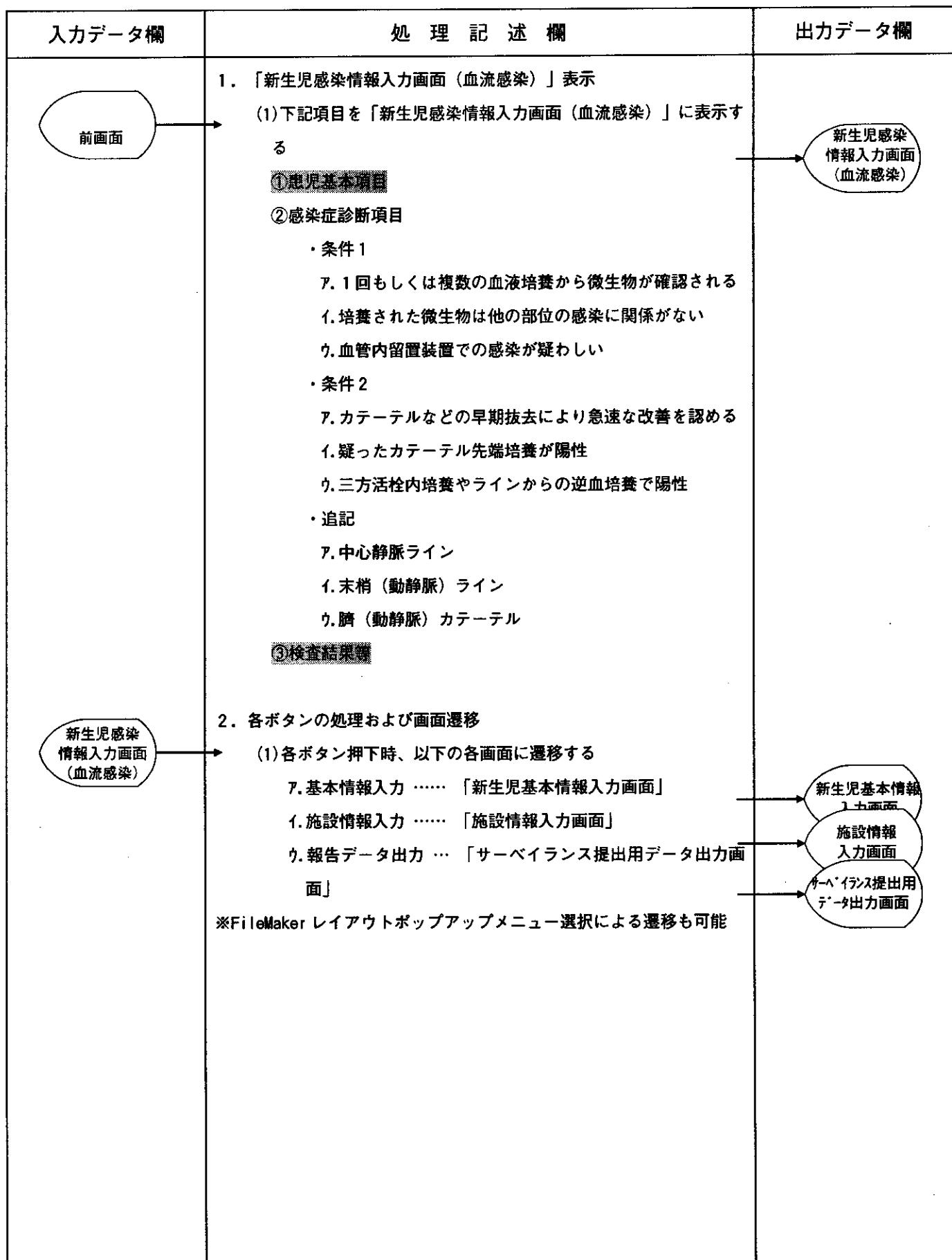
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年3月15日 作成者 株式会社 十印
	新生児感染情報入力画面（髄膜/脳室炎）	



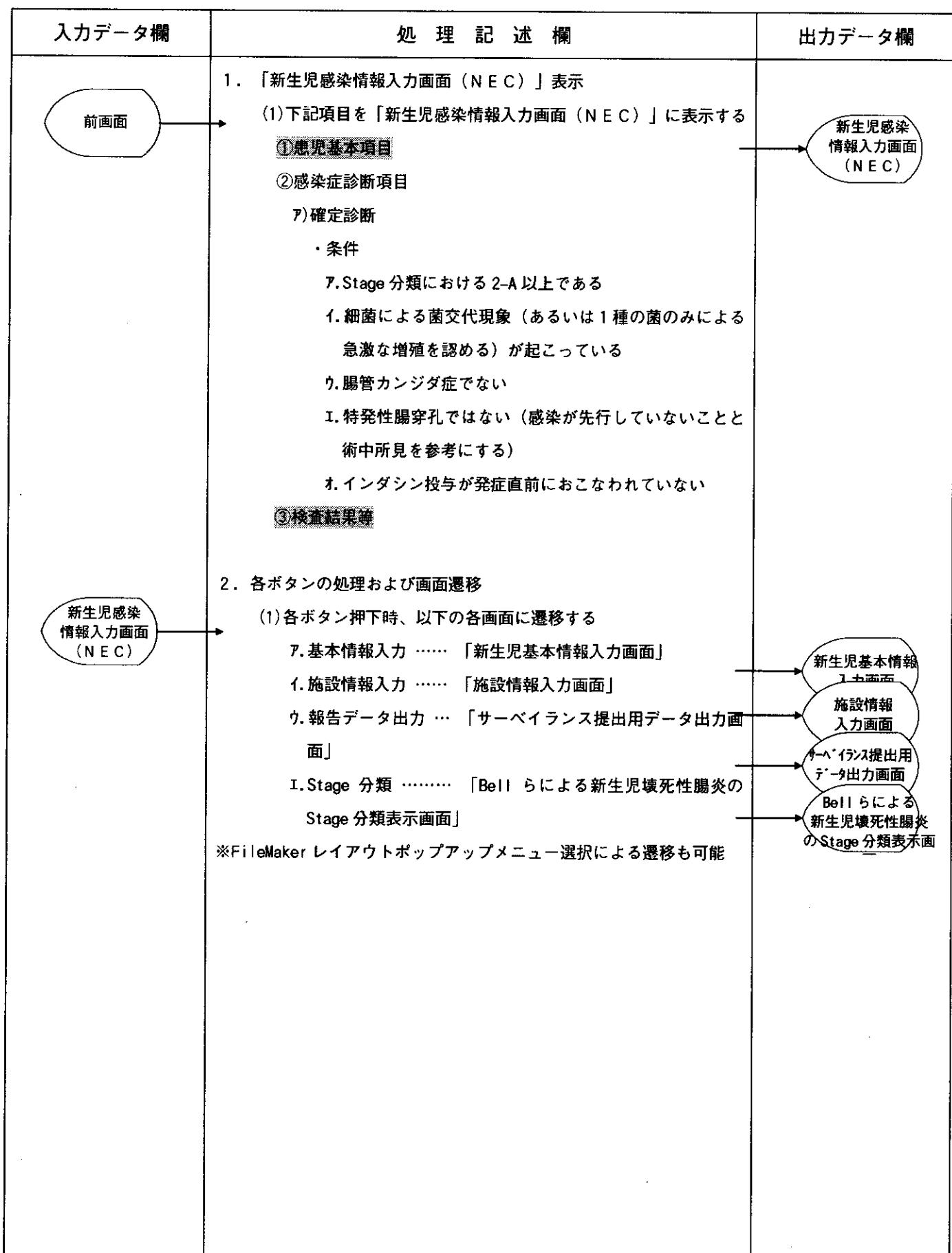
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門	作成日 平成14年3月15日 作成者 株式会社 十印
	新生児感染情報入力画面（尿路感染）	



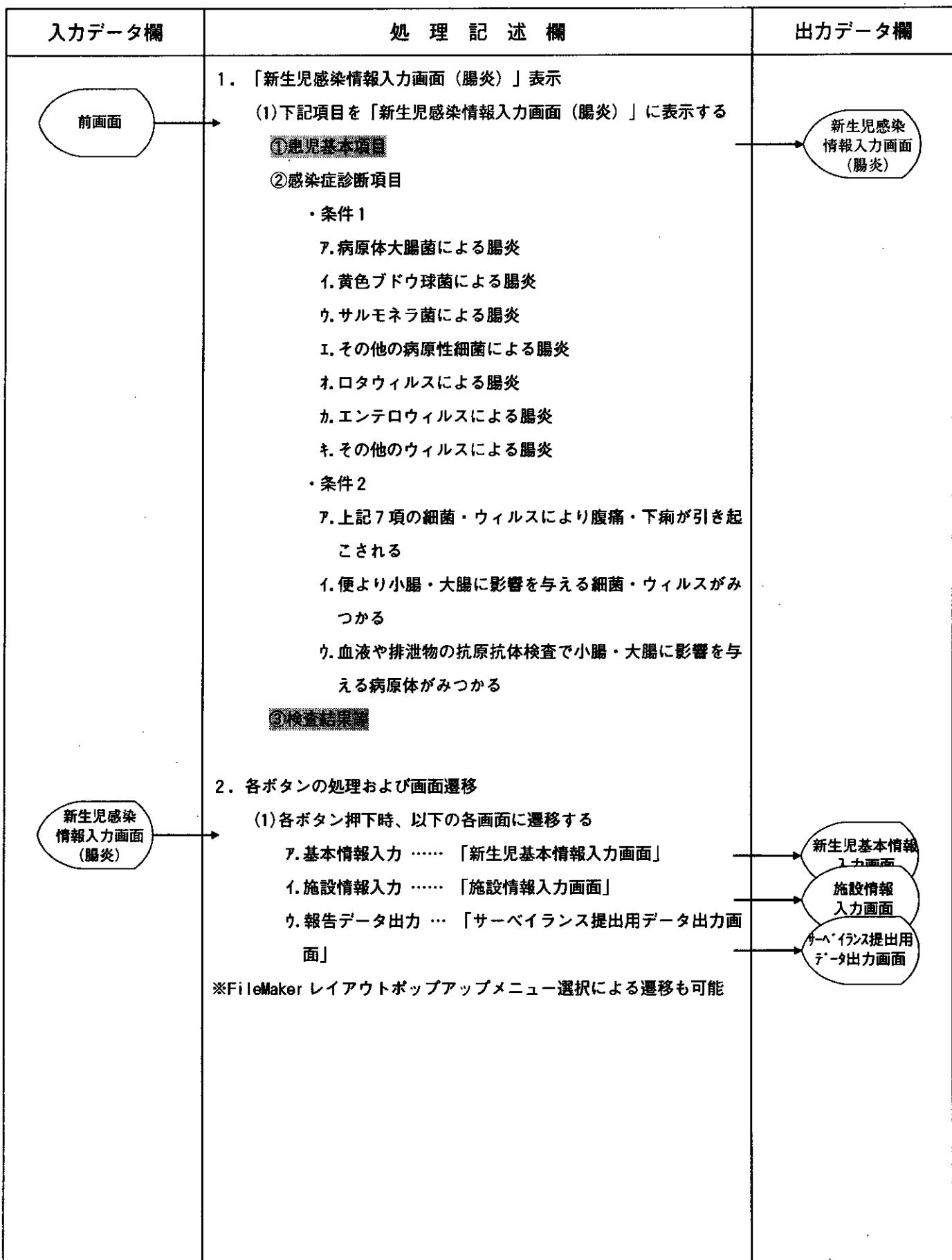
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成 14 年 3 月 15 日
	新生児感染情報入力画面（血流感染）		作成者 株式会社 十印



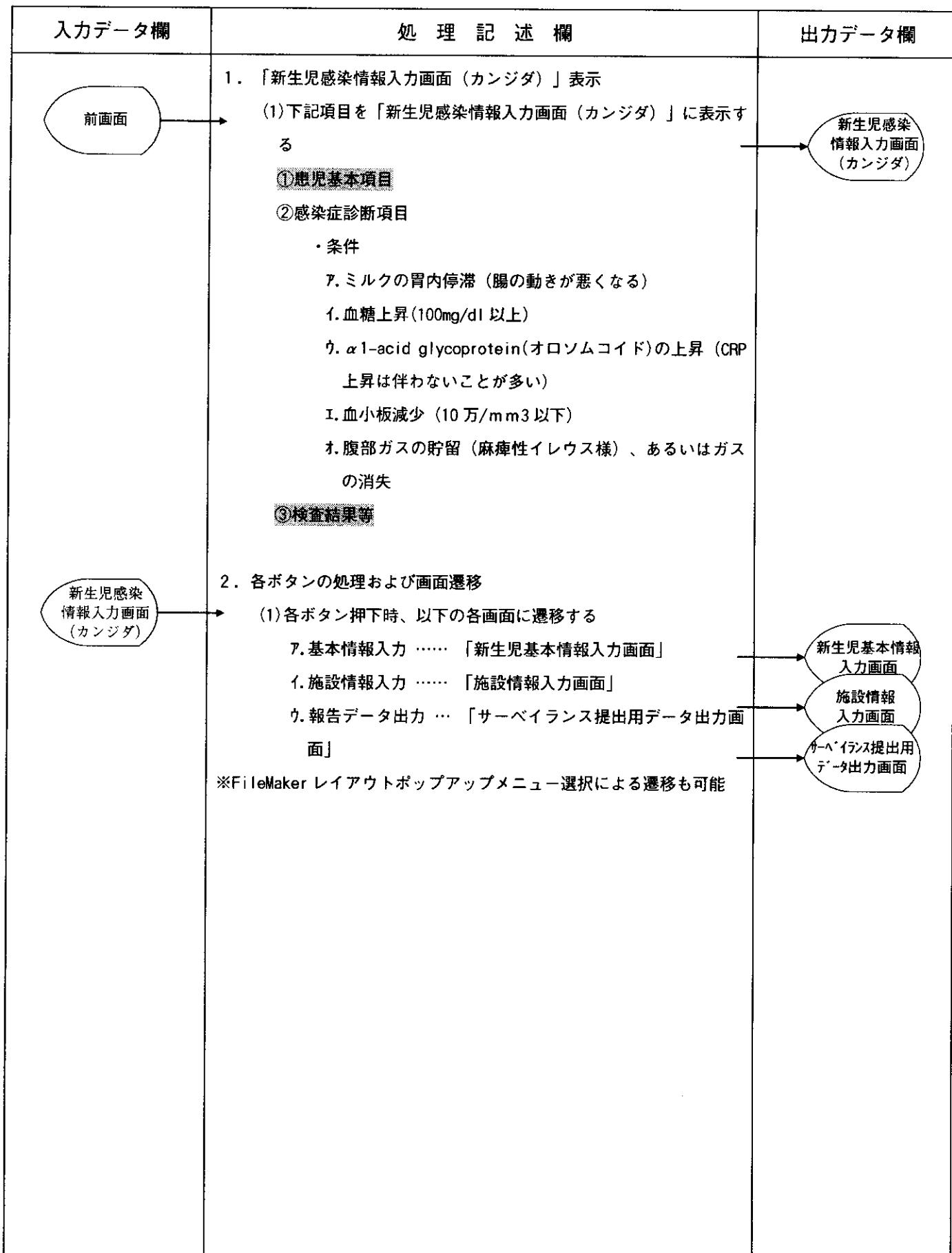
処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成 14 年 3 月 15 日
	新生児感染情報入力画面 (N E C)		作成者 株式会社 十印



処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年3月15日 作成者 株式会社 十印
	新生児感染情報入力画面（腸炎）	



処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU部門	作成日 平成14年3月15日 作成者 株式会社 十印
	新生児感染情報入力画面（カンジダ）	



処理機能記述	院内感染対策サーベイランスシステム/NICU 部門		作成日 平成14年3月15日
	新生児感染情報入力画面（N T E D）		作成者 株式会社 十印

